

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 11 月号 令和 7 年 10 月 28 日

【 目 次 】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
 ペットと住まいの衛生パネル展
- 4 特集
 家屋内へのネズミの侵入を防ぎましょう！

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況（定点報告疾患）について◆◆◆

インフルエンザは、第 40 週（9 月 29 日～10 月 5 日）2.86 から第 41 週（10 月 6 日～10 月 12 日）4.05 と感染者数が増加しており、都と比較しても感染者数が多い状況です。感染性胃腸炎は第 40 週 6.08 から第 41 週 7.08 と増加傾向が見られます。また、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、第 40 週 2.38 から第 41 週 2.54 と微増しています。

◆◆◆インフルエンザが増えています◆◆◆

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる呼吸器感染症です。感染経路は、咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染、ウイルスの付着した手で、目・口・鼻を触ることによる接触感染です。

38.0℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の症状が出現します。一般の風邪と同じような症状（のどの痛み、鼻水、咳等）もみられますが、一般の風邪よりも症状が比較的急速に現れます。かかっても多くの方は軽症のまま回復しますが、10 歳未満の小児や慢性疾患（心臓、肺、腎臓の疾患）・糖尿病のある方、高齢者、妊婦などは重症化しやすいため、注意が必要です。

予防のポイントは、こまめな手洗い・消毒、咳エチケットや必要時マスクの着用等基本的な感染防止対策です。また、インフルエンザワクチンは発症を予防する効果があり、発症した場合も重症化予防に有効とされています。接種については、かかりつけ医に相談しましょう。

○大田区「インフルエンザ」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/infuru_h1n1/tokutyou.html

○大田区「大田区高齢者インフルエンザ定期予防接種」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/yobou_sessyu/seijin/H25koureiinfuru.html

○大田区「お子さまのインフルエンザ予防接種費用を一部助成します【任意接種】」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/yobou_sessyu/kodomo/kodomo_infuru_yobou_sessyu_josei.html

◆◆◆東京都エイズ予防月間が始まります◆◆◆

12月1日は世界エイズデーです。エイズのまん延防止と、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に制定されました。日本国内でも、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しています。

○エイズとは

エイズはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）によって引き起こされる病気です。HIVに感染すると免疫の力が弱くなり、普段なら感染しないような病原体で病気になったりします。発病して免疫が低下した状態をエイズといい、HIVの感染を放置すると、10年で約半数がエイズになるといわれています。

○感染経路

性的接触による感染、母子感染、血液による感染が主な感染経路です。日本国内で圧倒的に多いのが、性行為による感染です。HIVは主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれており、性行為中に性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染します。HIVは、性的接触以外の日常的な接触では感染しません。

○「U＝U」とは

HIV治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているHIV陽性者では、性行為によってHIVが感染しないことが確認されています。この状態はUndetectable（検出限界値未満）＝Untransmittable（HIV感染しない）、略して「U＝U」と呼ばれ、今年度の「世界エイズデー」のキャンペーンテーマになっています。

○大田区「HIV感染症（大田区HIV及び性感染症検査）」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hiv/hiv.html

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和7年9月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和7年9月に、5件（患者18名）の食中毒が発生しました（令和7年10月15日現在）。食中毒の病因物質はアニサキス2件（患者2名）、カンピロバクター1件（患者4名）、ノロウイルス1件（患者7名）、黄色ブドウ球菌1件（患者5名）でした。原因施設はアニサキスについては1件が魚介類販売業施設、1件が不明でした。カンピロバクターについては飲食店（一般）、ノロウイルスについては集団給食施設、黄色ブドウ球菌については家庭が原因施設となっています。

○東京都「都内の食中毒発生状況（速報値）」

https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/tyuudoku/r7_sokuhou.html

3 トピックス

■ペットと住まいの衛生パネル展

ペット、ネズミなどについてのパネル展です。災害時、大切なペットと避難する際の準備はできていますか？ネズミ、室内環境などで困ったことはありませんか？生活でのお困りごとを解決するお手伝いをいたします！ぜひご来場ください。

【日程】令和7年11月19日（水曜日）正午から11月26日（水曜日）午後3時まで

【会場】大田区役所本庁舎（大田区蒲田五丁目13番14号）1階

【展示内容】

- ・災害時のペットとの同行避難
- ・ネズミの生態、防除方法
- ・換気や結露防止など室内環境づくりのアドバイス など

○大田区ホームページ 「ペットと住まいの衛生パネル展」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/oshirase/sumaino_eiseipaneruten.html

4 【特集】家屋内へのネズミの侵入を防ぎましょう！

最近、ネズミを目撃したとの相談が増えています。屋外なら不要なもの、餌となるものを片づけるなどの整理整頓を行いましょう。家の中に入ってくると、天井裏を走り回ってうるさい、食品をかじられるなどの被害が発生します。ネズミを家の中に入れない、定着させないような対策が重要です。

■ネズミを家の中に入れない・定着させない 3つのポイント

1 侵入口をふさぐ

10円玉くらいの穴やすき間があれば、侵入が可能です。すき間に金網、金ダワシやパテなどを詰めたりアルミ板を貼ったりして、侵入口をふさぎましょう。（新聞紙やスポンジ、タオルなどのネズミがかじることの出来る素材の使用は避けてください。）

クマネズミは、凹凸があれば垂直な壁でも登ることができるため、1階だけでなく2階以上も確認してください。

【点検のポイント箇所】

屋外：通風口、戸袋、エアコン・ガス管・水道管などの配管周り、窓・扉・シャッター

屋内：台所の配管周り、玄関の上がり框のすき間、天井の天板のずれ、エアコンの配管周り

2 ネズミの食物を絶つ

食べ物は、蓋付きの容器や冷蔵庫などで保管し、生ゴミは蓋付きのごみ箱に入れましょう。御仏壇のお供えや花、ペットの餌などもネズミの食物になるので、放置せず速やかに片付けましょう。

3 巣をつくらせない

新聞紙やレジ袋、ダンボール、割り箸、ティッシュペーパー、発泡スチロールなどは巣の材料になるので、不要になったものは速やかに処分しましょう。また、床に多くの物を置いておくとネズミが安心して身を隠すことが出来ます。整理整頓を心掛けましょう。

■ネズミの被害にお困りの方へ

大田区では専門業者を無料で派遣し、ネズミ対策の助言を行っています。

- ・内容：ご自身でできる対策（侵入口の探し方、塞ぎ方など）をご自宅で助言します。（ネズミの駆除は行いません）

※屋外にネズミがいるだけでは派遣は行いません。

- ・対象：区内にある一般家屋（営業用施設は除く）で今年度初めて依頼する方
- ・派遣日：原則、火曜日・木曜日（1日4件、先着順）

※詳細な日程はHPをご覧ください。

- ・ 申し込み方法：問い合わせ先へ電話
- ・ 費用：無料

■自主講習会へ講師派遣

保健所では、ネズミだけでなく、ゴキブリ、蚊、ダニなどの衛生害虫、さらに、室内の換気の仕方など、住まいの衛生に関する相談をお受けしています。また、保健所職員が、自治会・町会、集合住宅などに直接伺って、住まいの衛生に関する講習会を行いますのでご利用ください（土日、夜間、祝日を除きます）。

◆問い合わせ先◆

生活衛生課環境衛生担当 電話 （５７６４）０６９４

○大田区のホームページ「住まいの衛生（ネズミ・衛生害虫等の相談）＞ネズミ」
https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/sumai_soudan/nezumi/index.htm
|

★「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行う手洗いの状況を目で見て確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、電話またはオンライン申請（LoGo フォーム）による申し込みができます。

【電話の場合】

大田区保健所生活衛生課（5764-0698）にお問い合わせください。

【オンライン申請（LoGo フォーム）の場合】

<https://logoform.jp/form/8BrJ/949830>

詳しくはこちらへ↓大田区のホームページ

○「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/tearai-kit.html>

」」」

登録情報の変更・配信停止は以下 URL からお願いします。

<http://hokenjyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、11 月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 水野